

## 未来の東京に向けた水辺整備のあり方検討会（第4回）議事要旨

日時：令和5年2月6日（月）10:00～12:00

主な意見は以下のとおり。

- 水辺の利活用を進めるためには、地域の歴史を知り、盛り上げるキーパーソンを探していくことが大切である。
- エリアマネジメント団体が河川敷地を占用する場合や使いたい人と関係機関の調整を担う場合など、多様な事例を踏まえた検討が必要である。
- 中間支援の方法は、他都市の取組も含め多様なスキームがある。隅田川においても、ルールやビジョン等について考えていくことが必要になるだろう。
- 隅田川のように複数の地域が広域的に関わる水辺のマネジメントを考える場合、地域ごとの水辺と街を中心としたエリアマネジメントをネットワークで繋げていくことが望ましい。
- 河川だけでなく、まちづくりや公園等とも連携し、水辺の拠点を整備することで、地域の防災力も向上したと言えるようなになれば良い。
- この構想が、これからの各拠点整備を推進するような資料になれば良い。パブリックコメント後に最終的なとりまとめを行いたい。